

(トップページ:<http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(五大石油会社の業績比較:<http://mylibrary.maeda1.jp/SuperMajors.html>)

(ブログ「石油と中東」:https://blog.goo.ne.jp/maedatakayuki_1943)

マイライブラリー:0468

(注)本稿は 2019 年 5 月 7 日から 15 日まで 6 回に分けて「ブログ・石油と中東」に掲載したレポートをまとめたものです。

五大国際石油企業2019年1-3月期決算速報

2019.5.18

前田 高行

スーパーメジャーと呼ばれる五大国際石油企業(ExxonMobil、Shell、BP、Total 及び Chevron)の1-3月期決算が相次いで発表された。ここでは売上高、利益(総合、上流部門、下流部門)、売上高利益率、設備投資および石油・天然ガス合計生産量について各社の業績を横並びで比較するとともに各社の四半期決算の推移を検証する。

決算の詳細は以下の各社のホームページを参照されたい。

ExxonMobil:

<https://news.exxonmobil.com/press-release/exxonmobil-earns-24-billion-first-quarter-2019>

Shell:

<https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2019/first-quarter-2019-results-announcement.html>

BP:

<https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/first-quarter-2019-results.html>

Total:

<https://www.total.com/en/media/news/press-releases/first-quarter-2019-results>

Chevron:

<https://www.chevron.com/stories/chevron-reports-first-quarter-2019-net-income-of-2-6-billion>

なお過去の四半期業績及び2010年から2018年までの通年の業績比較は下記レポートを参照されたい。

<http://mylibrary.maeda1.jp/SuperMajors.html>

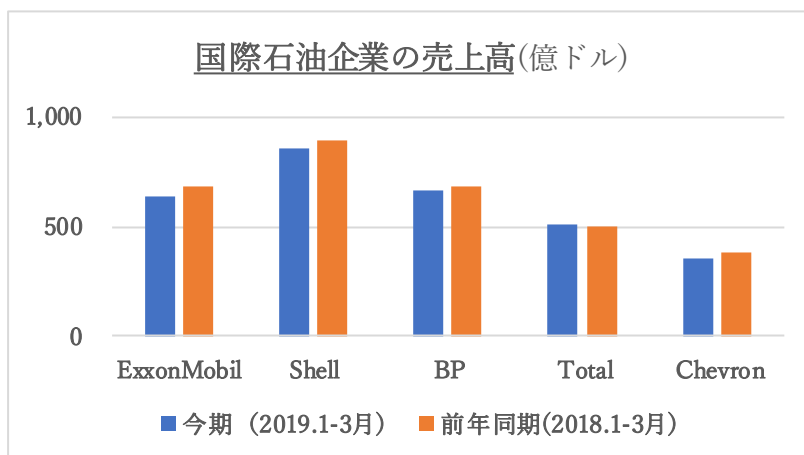
1. 五社の1-3月期業績比較(末尾表:1-D-4-22 参照)

五社を横並びで比較すると売上高、総合利益及び天然ガス生産量では Shell がトップである。一

方、設備投資、原油生産量および原油と天然ガスを合計した生産量の各部門では ExxonMobil が、また売上高利益率および上流部門利益は Chevron が、下流部門利益は BP がそれぞれトップである。売上高は4社が前年同期を下回ったが、利益面では ExxonMobil と Chevron が対前年同期比で大幅に利益が減少した反面、その他の3社は増益であり業績が2極分化している。原油生産量では ExxonMobil がずば抜けて大きく、一方天然ガス生産量では Shell だけが100億立方フィート/日を突破しており他の4社を引き離している。

(Total を除く4社は減収！)

(1) 売上高

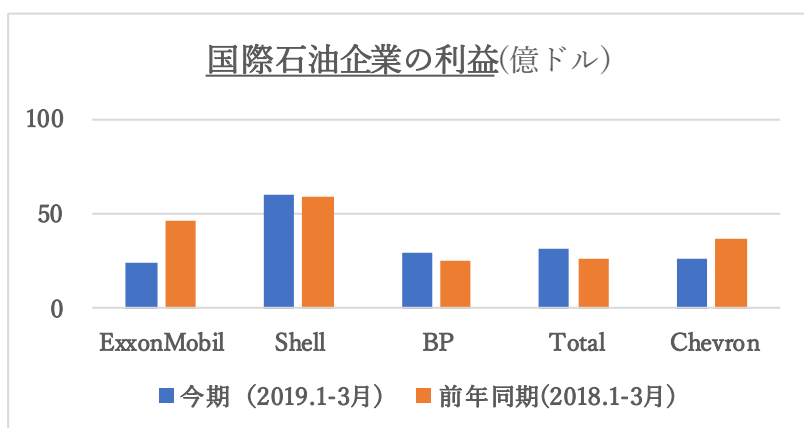


2019年1-3月の売上高は Total を除く4社は前年同期比で減収となった。各社の原油・天然ガス生産量は前年同期に比べ異なるものの一桁台の増減にとどまっている(本稿下記参照)。また原油価格の変化を見ると、昨年第1四半期のバレル当たり平均価格は WTI62.9ドル、

Brent66.82ドルであったものが、今期はそれぞれ54.87ドル及び63.13ドルである(Shell 決算資料による)。いずれも1年前に比べて値下がりしているが、値下がり率は WTI の13%に対して Brent は6%にとどまっており、米国内の値下がりが大きかったことがわかる。

各社の売上高および対前年同期の増減幅は、ExxonMobil が6.7%減、Shell 4%減、BP 2.7%減、Chevron 6.8%減、Total 3.2%増であった。五社の売上高の差異は、Total の米国原油の取扱量或は米国内の販売量が ExxonMobil、Chevron など他の四社に比べて少なかったことが一因であると推定される。

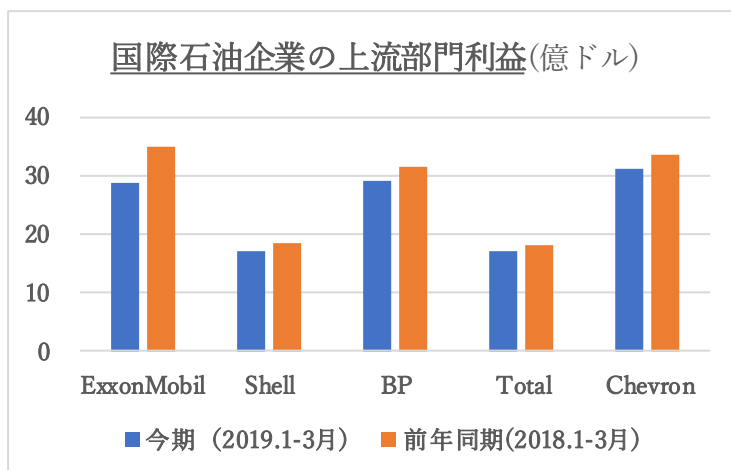
(2) 総合利益



5社ともに利益を計上しているが金額には大きな格差があり、また前年同期と比べると ExxonMobil 及び Chevron は大幅な減益になった一方、BP、Total は2割近い増益となっている(Shell はほぼ横ばい)。利益額が5社の中で最も大きいのは Shell の60億ドルであり前年同期(59億ド

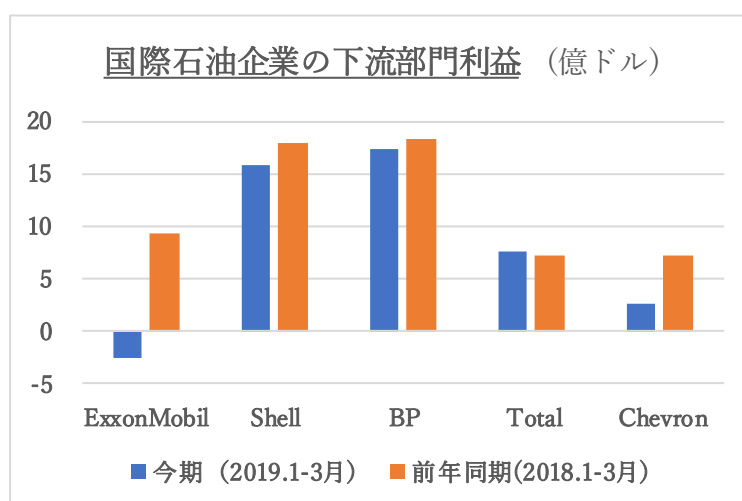
ル)とほぼ変わらない。Shellに次いで利益が多いのはTotalの31億ドルで前年同期比18%増である。BPもほぼTotalに並ぶ29億ドルの利益を計上している。これに対してChevronは前期比27%減の26億ドルにとどまっており、ExxonMobilは5社の中で利益が最も少ない24億ドルで前年同期に比べ半減している。

(3) 上流部門と下流部門の利益



利益を上流部門(石油・天然ガスの開発生産分野)と下流部門(石油精製および製品販売分野)に分けて比較すると、まず上流部門ではChevron(31億ドル)、BP(29.3億ドル)及びExxonMobil(28.8億ドル)の3社が30億ドル前後の利益を計上して並んでいる。またTotal及びShellは17億ドル台である。前年同期と比較すると五社共に減益であり、減益幅はExxonMobilが

18%と最も大きい。その他の4社の減益幅は5~8%である。

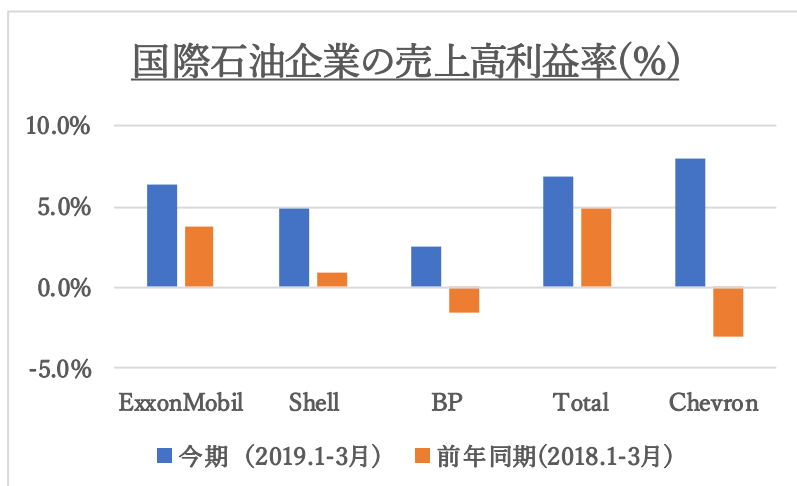


下流部門も利益が最も多いのはBPの17億ドルであり、Shellがわずかに少ない16億ドルである。この2社に続くのがTotal(7.6億ドル)、Chevron(2.5億ドル)となっている。ExxonMobilは5社の中で唯一2.6億ドルの欠損を出している。前年同期と比較するとTotalのみが増益であるが、その他の4社はいずれも減益である。

歴史的に見ると五大国際石油企業は2014年に原油価格が100ドルを超えるまで上流部門の利益が下流部門を上回る時代が長く続き、その後一転して原油価格が暴落した2015~17年は下流部門の利益が上流部門を上回った。そして原油価格が高値安定している現在は再び上流部門の利益が下流部門より多くなっている。

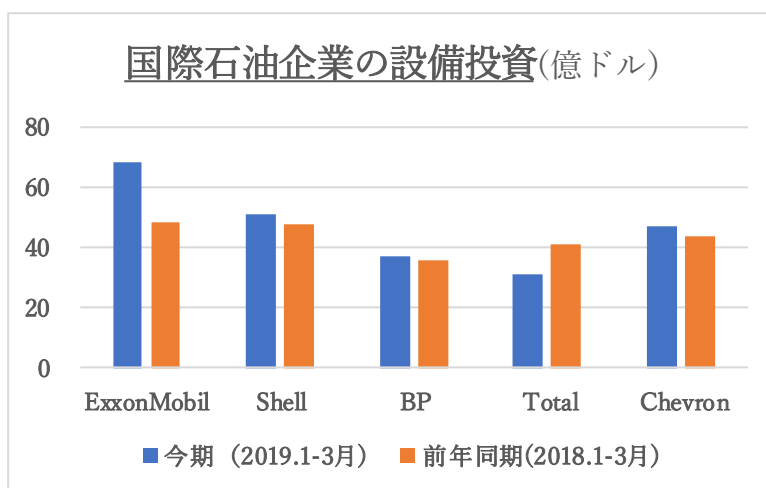
なお上記(2)総合損益は各社によって石油化学品部門あるいはその他の損益を含むため上・下流部門の利益の合計額とは一致しないケースがある。

(4) 売上高利益率



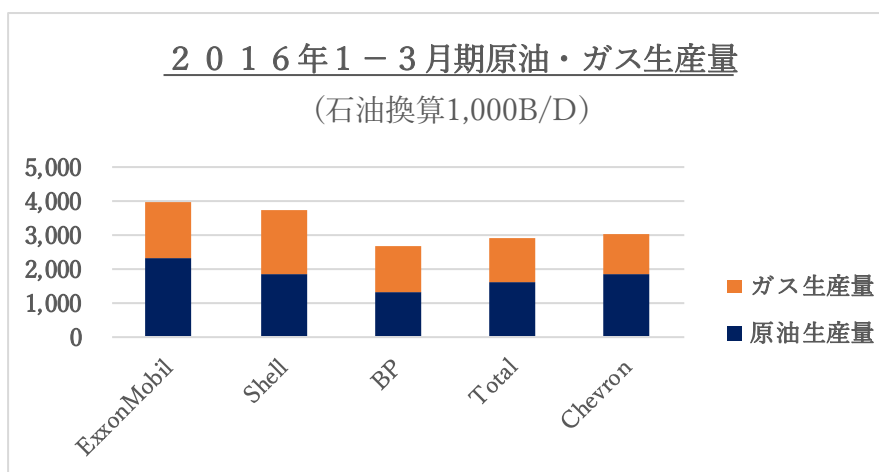
売上高利益率はChevronが7.5%と最も高く、Shell 7.0%、Total 6.1%、BP 4.4%と続いており、利益率が最も低いのはExxonMobilの3.7%である。前年同期に比べると、Shell、BP及びTotalは改善した一方、Chevron及びExxonMobilの2社は悪化している。

(5) 設備投資



2019年1-3月期の設備投資額が最も多いのはExxonMobilの69億ドル、これに次ぐのがShellの51億ドル、Chevronの47億ドルである。BP及びTotalはこれら3社を下回る30億ドル台の投資にとどまっている。前年同期と比較するとExxonMobilは前年同期のほぼ1.5倍増であり、Shell、Bp、Chevron3社はわずかながら増加している。しかしTotalは25%と大幅に減少している。

(5) 原油・ガス生産量



今年1-3月の原油生産量はExxonMobilが平均日産量233万バレル(以下B/D)で5社の中では最も多い。その他の4社はいずれも200万B/D未満でChevron(188万B/D)、Shell(185万B/D)、Total163万B/Dである。BPの原

油生産量は5社の中で最も少ない130万B/DでExxonMobilの6割弱にとどまっている。ExxonMobilは世界各地で万遍なく原油生産をおこなっており他社を圧倒している。前年同期と比較するとBP以外の4社はいずれも増加しており、特にTotalは10%増加している。

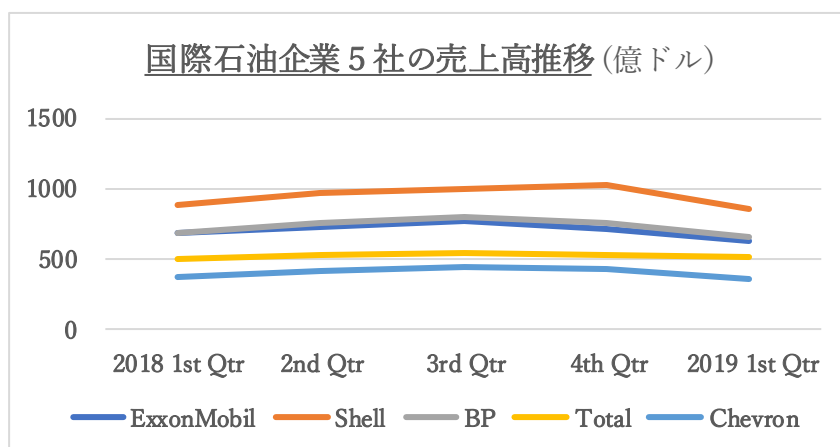
天然ガスの生産量はShell1社のみ100億立方フィート(以下 cfd)を超えている。第2位のExxonMobilは前年同期はShellと並んで生産量が100億cfdを超えていたが、今期は99億cfdにとどまっている。残る3社はBPが79億cfd、Total73億cfd、Chevron70億cfdであった。前年同期に比べると各社ともさほど大きな変化は無いが、BP、Total、Chevron3社が増加しているのに対して、ExxonMobil及びShellは前年同期を下回っている。

天然ガスを石油に換算した原油・天然ガスの合計生産量ではExxonMobilは398万B/Dでこれに次ぐのがShellの375万B/Dである。その他の3社は2社との格差が大きく、Chevronは304万B/D、Total295万B/D、BP266万B/Dである。石油と天然ガスの比率を見ると、Chevronは石油62%、天然ガス38%であり5社の中では石油の比率が最も高い。またTotal、ExxonMobilも石油の比率が天然ガスを上回っており、それぞれ石油55%:天然ガス45%、石油58%:天然ガス42%である。これに対してShell及びBPは天然ガスが石油を上回っており、その比率は両社とも石油49%:天然ガス51%である。

2. 2018年第1四半期以降の四半期別業績の推移

五社の売上高、利益(全体、上流部門および下流部門)、設備投資、原油・天然ガス生産量に関する2018年1-3月期以降今期までの四半期ごとの業績推移は以下の通りである。

(1) 売上高の推移



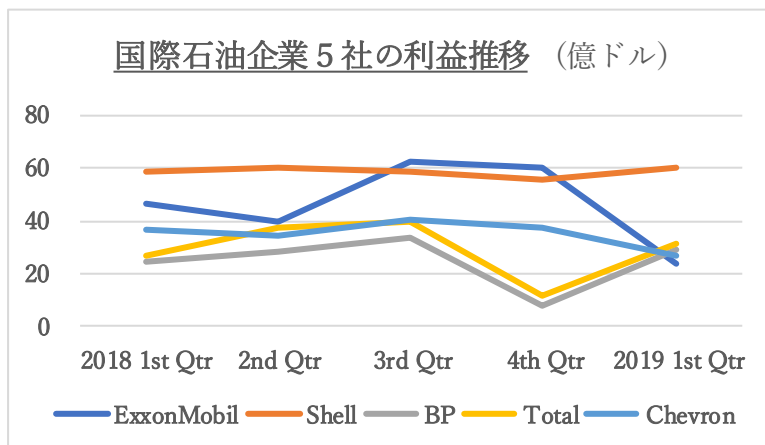
2018年第1四半期から2019年第1四半期に至る四半期ベースの売上高の推移を見ると、昨年半ば以降原油価格が下落に転じたため、各社とも売上の減少傾向が見られる。5社の中ではShellが892億ドル('18 1st Qtr)→968億ドル(2nd Qtr)→1,002

億ドル(3rd Qtr)→1,022億ドル(4th Qtr)と4期連続で売上げが上昇し、昨年第3四半期には売上高が1千億ドルを超えたが、今年第1四半期は857億ドルに急減している。しかし過去1年間を通じてShellは売上高トップを続けており、2位のBPとは20%以上の差がある。Shellに次ぐのがBPとExxonMobilであり、BPの売上高は682億ドル('18 1st Qtr)→754億ドル(2nd Qtr)→795億ドル(3rd Qtr)→757億ドル(4th Qtr)→663億ドル('19 1st Qtr)である。またExxonMobilの売上高は682億ドル('18 1st Qtr)→735億ドル(2nd Qtr)→766億ドル(3rd Qtr)→719億ドル(4th Qtr)→636億ドル('19

1st Qtr)であり、両社の売上高は拮抗している。

この間の Brent 原油の四半期平均価格(1バレル当たり)の推移を Shell の決算資料で見ると66.82ドル('18 1st Qtr)→74.39ドル(2nd Qtr)→75.16ドル(3rd Qtr)→68.81ドル(4th Qtr)→63.13ドル('19 1st Qtr)であり、昨年第3四半期以降、下落に転じている。

(2)利益の推移

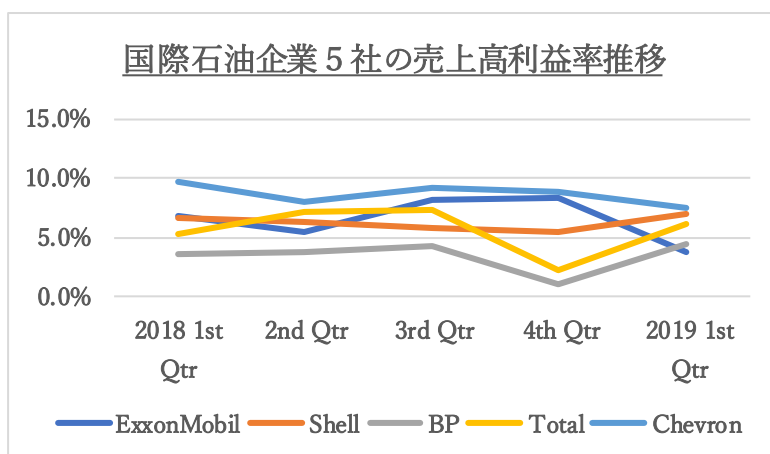


過去1年間の四半期ごとの利益水準は各社によって異なるものの、いずれも欠損は出していない。

5社の中では Shell は59億ドル('18 1st Qtr)→60億ドル(2nd Qtr)→58億ドル(3rd Qtr)→56億ドル(4th Qtr)→60億ドル('19 1st Qtr)と毎期60億ドル前後の利益

を計上、5社の中では抜群の安定した業績を上げている。ExxonMobil 昨年第1, 2四半期に40億ドル台の利益を計上した後、第3, 4四半期は Shell を上回り60億ドル強の利益を出したが、今期の利益は一転して24億ドルに急落、5社の中では最も少ない利益にとどまっている。Chevron、Total、BP の3社は、昨年第1四半期から第3四半期まで30~40億ドルの安定した利益水準であったが、第4四半期はBPとTotalの利益が一桁台に急落している。今期(2019年第1四半期)は両社の利益が回復し、3社は再び30億ドル前後の利益で並んでいる。

(3)売上高利益率の推移



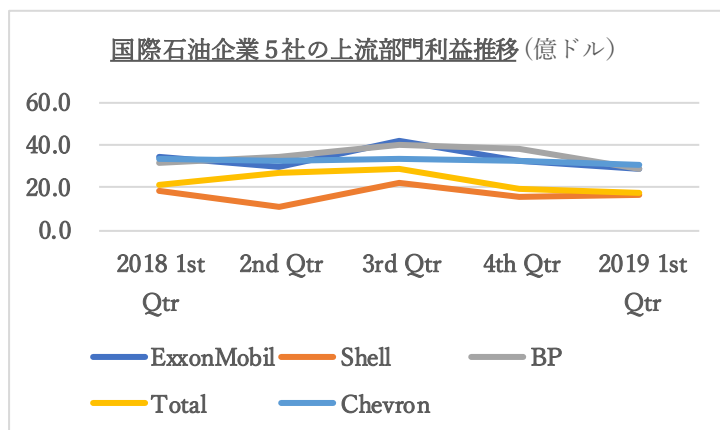
1年前の昨年第一四半期の五社の利益率は Chevron が9.6%と最も高く、次いで ExxonMobil 6.8%、Shell 6.6%、Total 5.3%と続き、BP は最も低い3.6%にとどまっている。Chevron の利益率は今年1-3月期までの5期を通じて5社の中で最も高い。Chevron に続いて安定した利益率を示している

るのは Shell であり、同社の場合その推移は、6.6%('18 1st Qtr)→6.2%(2nd Qtr)→5.8%(3rd Qtr)→5.5%(4th Qtr)→7.0%('19 1st Qtr)であり、今年第1四半期の利益率は Chevron と遜色がない水準である。

5社の中で利益水準が最も低いのはBPであり各四半期の利益率は3.6%('18 1st Qtr)→3.7% (2nd Qtr)→4.2%(3rd Qtr)→1.0%(4th Qtr)→4.4%('19 1st Qtr)であった。ExxonMobilとTotalの2社は前期と今期で対照的な明暗を示している。Totalは昨年第2、第3四半期には7%台の利益率を示したが、第4四半期は2.2%に急落、今期は6.1%に回復している。これに対してExxonMobilは第3、第4四半期に8%台の利益率を記録したが、今期は3.7%と5社の中で最も低い利益率に終わっている。

(4)部門別利益の推移

(4-1)上流部門

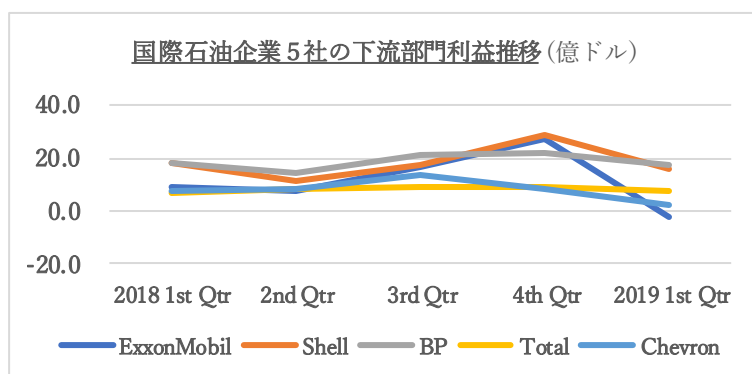


前年の2018年第1四半期の各社の上流部門の利益が最も多かったのはExxonMobilの35億ドルであり、Chevronの34億ドル、BPの32億ドルがこれに続いている。Totalの利益額は22億ドルで5社の中で上流部門の利益が最も少なかったのはShellの19億ドルである。

続く第2四半期はBP、Chevron及びExxonMobilが前期とほぼ横ばいの30億ドル台の利益を計上している。TotalとShellはTotalが27億ドル、150%の増益だった反面、Shellは11億ドル、6割の減益となった。第3四半期は各社とも最高の利益を計上したが、その後の第4四半期及び今年第1四半期にかけては連続して利益が減少し、1年前の水準に逆戻りしている。

5四半期を通じて各社の上流部門の利益を比較すると、Shellが5社の中で最も利益水準が低く、同社の上流部門は他の4社に比べて見劣りがする。上流部門ではExxonMobil、BP、Chevronの3社がトップ争いを演じながら上位グループを形成し、Shell及びTotalが下位グループとなる状況が続いている。

(4-2)下流部門

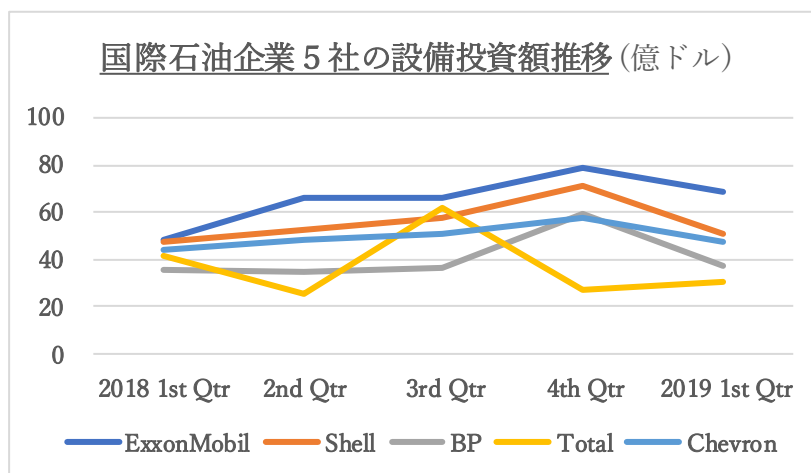


下流部門は2018年第1四半期から第4四半期までの昨年一杯は全社が利益を計上していたが、今年年第1四半期にはExxonMobilがこの部門で2.6億ドルの欠損を出している。昨年第1四半期はShell及びBPが18億ドルの利益を出し、他の3社の利益は7~9億ドルであった。Shell

は第2四半期以降急速に利益が上昇、昨年末には29億ドルの利益を計上している。但し今期は16億ドルに急減、BPと並び1年前の利益水準に逆戻りしている。

過去1年間を通じて下流部門の利益変動が最も大きかったのは ExxonMobil であり、2018年第1四半期の9.4億ドルから7.2億ドル('18 2nd Qtr)→16.4億ドル('18 3rd Qtr)→27億ドル('18 4th Qtr)→▲2.6億ドル('19 1st Qtr)と振幅が激しい。

(5) 設備投資の推移



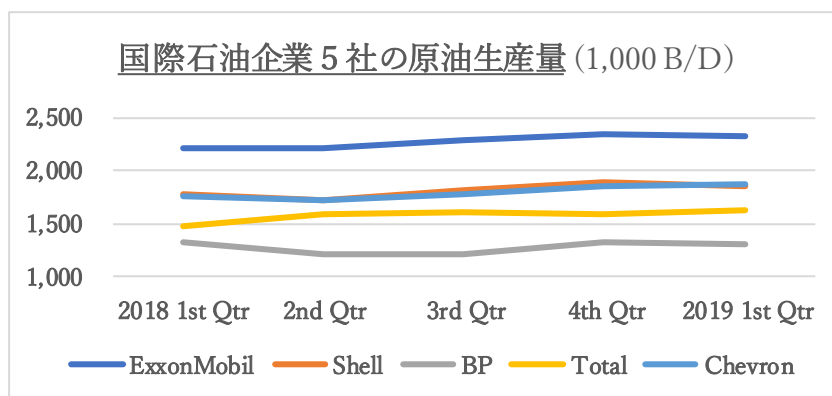
5社の四半期ベースの設備投資額は ExxonMobil、Shell 及び Chevron が每期ほぼ安定した投資を行っている。各期の ExxonMobil の投資額は49億ドル('18 1st Qtr)→66億ドル('18 2nd Qtr)→66億ドル('18 3rd Qtr)→78億ドル('18 4th Qtr)→69億ドル('19 1st Qtr)であり、全期を通じて常に5社で最高の投資を続けている。

に5社で最高の投資を続けている。

同社に次ぐ投資を行っているのは Shell であり、その金額は48億ドル('18 1st Qtr)→53億ドル('18 2nd Qtr)→58億ドル('18 3rd Qtr)→71億ドル('18 4th Qtr)→51億ドル('19 1st Qtr)と推移している。Chevron の投資額は5社中の3位であるが、各期の投資は50億ドル前後でほぼ安定している。

(6) 原油・天然ガス生産量の推移

(6-1) 原油生産量

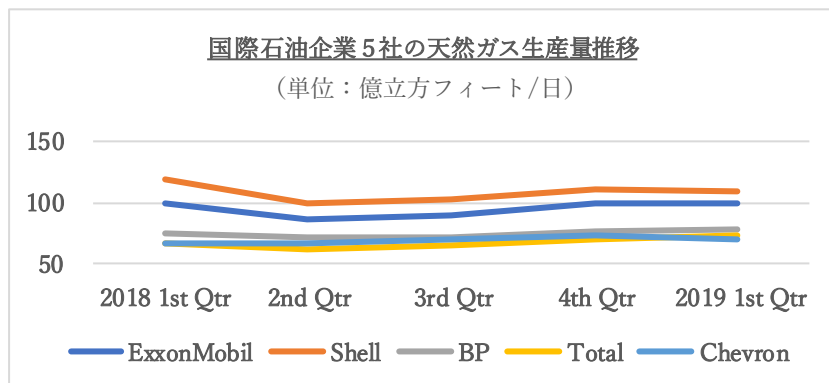


過去1年間の四半期ごとの原油生産量の推移を見ると ExxonMobil が他社を引き離して5期連続でトップを守っている。ExxonMobil の生産量は5社の中でただ1社200万 B/D 台を維持しており、今年第一四半期の生産量は

233万 B/D であった。ExxonMobil に次ぐ二番手グループは Shell と Chevron であり、両社の生産量は殆ど同じ180万 B/D 強である。Total は2018年第1四半期148万 B/D であったが、その後漸

増し、現在は163万 B/Dに達している。BP の 1 年前の生産量は5社の中で最も少ない132B/D で
 トップ ExxonMobil の6割であったが、その後も生産量は伸び悩み、今期は130万 B/D にとどまり他
 社との差は拡大傾向にある。

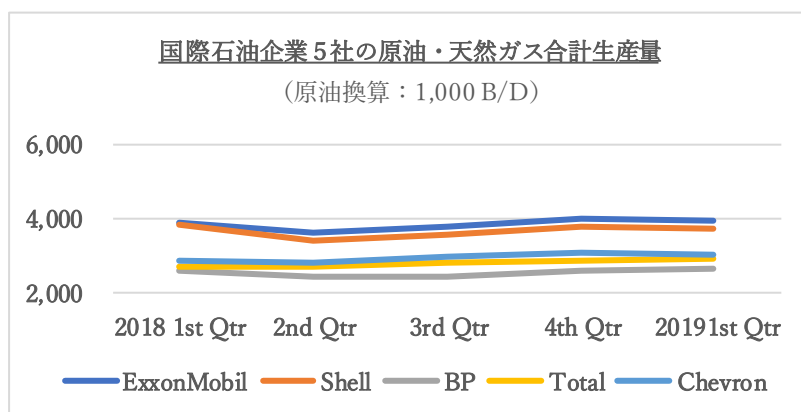
(6-2)天然ガス生産量



天然ガスの生産量は ExxonMobil と Shell の上位
 グループと BP、Total、
 Chevron の下位グループ
 の2極に分かれている。
 Shell の過去1年間の生産
 量は119億立方フィート
 ('18 1st Qtr)→99億立方
 フィート('18 2nd Qtr)→104

億立方フィート('18 3rd Qtr)→110億立方フィート('18 4th Qtr)→110億立方フィート('19 1st Qtr)
 であり、2018年第2四半期に急減したが、その後生産量は回復傾向にある。ExxonMobil も Shell と
 ほぼ同様の軌跡をたどっており、両社の差は10億立方フィート前後で推移している。他の3社は5
 期を通じて殆ど生産量に変化は無く60~70億立方フィート台を維持している。

(6-3)原油・天然ガス合計生産量



天然ガスを石油に換算した
 原油・天然ガスの合計生産
 量の推移を見ると2018年第
 2四半期以降わずかながら
 増産傾向が見られる。生産
 量が最も多い ExxonMobil は
 石油換算で389万 B/D('18
 1st Qtr)→365万 B/D ('18
 2nd Qtr)→379万 B/D('18
 3rd Qtr)→401万 B/D('18

4th Qtr)→398万 B/D('19 1st Qtr)であり、これに次ぐ Shell の場合は ExxonMobil よりも20万 B/D
 前後少ない344万 B/D ('18 2nd Qtr)→360万 B/D('18 3rd Qtr)→379万 B/D('18 4th Qtr)→37
 5万 B/D('19 1st Qtr)で推移している。

Chevron、Total 及び BP3社の原油・天然ガス合計生産量は300万 B/D を下回る水準であり、最
 も少ない BP の生産レベルは250~260万 B/D で ExxonMobil 或は Shell のほぼ7割である。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

2019年1-3月期国際石油企業の業績

年		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2019年1-3月	63,625	85,662	66,321	51,205	35,200
	前年同期	68,211	89,235	68,172	49,611	37,764
	増減(%)	-6.7%	-4.0%	-2.7%	3.2%	-6.8%
総合損益(百万ドル) (*)	2019年1-3月	2,350	6,001	2,934	3,111	2,649
	前年同期	4,650	5,899	2,469	2,636	3,638
	増減(%)	-49.5%	1.7%	18.8%	18.0%	-27.2%
上流部門損益(百万ドル)(*)	2019年1-3月	2,876	1,706	2,928	1,722	3,123
	前年同期	3,497	1,854	3,157	1,817	3,352
	増減(%)	-17.8%	-8.0%	-7.3%	-5.2%	-6.8%
下流部門損益(百万ドル)(*)	2019年1-3月	▲ 256	1,595	1,733	756	252
	前年同期	940	1,806	1,826	720	728
	増減(%)	-127.2%	-11.7%	-5.1%	5.0%	-65.4%
売上高利益率(%)	2019年1-3月	3.7%	7.0%	4.4%	6.1%	7.5%
	前年同期	6.8%	6.6%	3.6%	5.3%	9.6%
設備投資(百万ドル)	2019年1-3月	6,890	5,121	3,695	3,090	4,734
	前年同期	4,867	4,789	3,586	4,139	4,405
	増減(%)	41.6%	6.9%	3.0%	-25.3%	7.5%
原油生産量(1,000B/D)	2019年1-3月	2,327	1,854	1,299	1,629	1,875
	前年同期	2,216	1,785	1,319	1,481	1,753
	増減(%)	5.0%	3.9%	-1.5%	10.0%	7.0%
ガス生産量(100万 cfd)	2019年1-3月	9,924	11,007	7,872	7,321	6,975
	前年同期	10,038	11,912	7,463	6,664	6,593
	増減(%)	-1.1%	-7.6%	5.5%	9.9%	5.8%
同石油換算(1,000B/D)	2019年1-3月	1,654	1,898	1,357	1,317	1,163
	前年同期	1,673	2,054	1,286	1,222	1,099
	増減(%)	-1.1%	-7.6%	5.5%	7.8%	5.8%
原油・ガス合計生産量 (石油換算 1,000B/D)	2019年1-3月	3,981	3,752	2,656	2,946	3,038
	前年同期	3,889	3,839	2,605	2,703	2,852
	増減(%)	2.4%	-2.3%	2.0%	9.0%	6.5%

* 総合損益には石油化学部門あるいはその他の損益を含むため、上流部門・下流部門損益の合計額とは一致しない場合がある。